

人気イベント
朝日地球会議 書籍3冊セット **100名様にプレゼント** 6/30(火)まで 朝日新聞 応募はこちら

朝日新聞 > 連載 > 8がけ社会 > 記事

現場から

老朽化進むごみ処理施設 維持費かさみ「待ったなし」解決の鍵どこに

2026年5月6日 7時02分 有料記事

浅田朋範



■8がけ社会 ごみのゆくえ (3)



焼却灰を運ぶコンベヤーは穴が開き、さび付いていた塩釜市清掃工場=2026年3月10日午後3時32分、宮城県塩釜市杉ノ入裏、浅田朋範撮影

集めたごみをどう処理するか、各地でひずみが広がる。

空に突き出た煙突には、遠くからでも見える亀裂が走っていた。工場内では、焼却灰を運ぶコンベヤーが赤茶色にさびついていた。

新シリーズ「8がけ社会 ごみのゆくえ」 →

人口減少でごみ処理にかかる1人当たりのコストが上がっています。くらしの基盤を支えるごみ処理事業を持続させるために何ができるでしょうか。各地で続く模索を通じて解決策を探ります。

宮城県塩釜市全域の可燃ごみを受け入れる清掃工場は、1976年に稼働を始めた。

焼却施設の耐用年数は20～30年と言われるが、50年にわたって市内のごみ処理を支えてきた。

寿命を超えて工場を動かすため、市は毎年、大金をつぎ込んできた。主に改修費用として使われる「臨時的経費」は、2021年度に6500万円、22、23年度は1億円を超えた。

注目の連載記事 →

もっと見る

日本サッカー考 W杯8強のために「180で止まる」と予測された鈴木彩艶 大器を育てた休養と議論



災間に生きて 大川小の最後の校長「少しは、話せるように」 喪失と葛藤の教員生活



日本整形外科学会、次の100年へ決意

誰もが生涯、自分で動ける社会の創造へ

アクセスランキング →

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

- 50年連れ添った夫への殺意 老老介護の末「いなくなってしまうば」
- 小沢一郎氏「だから負けたんだ」 中道改革連合めぐり党執行部に苦言
- 高校国語の選択科目を6科目に再編案 理系が学ばぬ「文学」履修促す
- 部活バス事故、識者「構造の問題」 あいまいさで見過ごされたリスク
- (時時刻刻) 日本の省庁、旗振れと続かず 急速に進む韓国、役人はソウル行ったり来たり

注目コンテンツ

ご案内

【&w】 上京した姉妹の浅草暮らし 東京の台所2



【&M】 心が軽くなる魔法の言葉とは いしわたり淳治の視点



【&Travel】 色が変わる神秘的温泉とは 楽しいひとり温泉 (秋田県)



【&M】 東京ディズニーシー25周年 小宮山雄飛おひとりさまの流儀



【&w】 レベルアップの春 知花くららの#海辺の暮らし



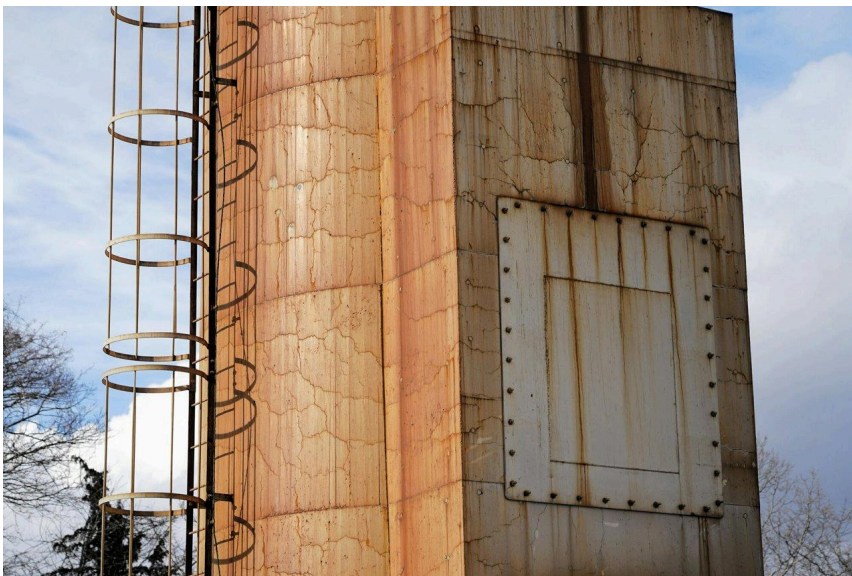
好書好日 いかに民主主義を育てたか 光州事件から学ぶ韓国近現代史



Re:Ron ヤングケアラーへの伴走支援



稼働から50年が経った塩釜市清掃工場。市内の可燃ごみを焼却する=2026年3月10日午後3時36分、宮城県塩釜市杉ノ入裏、浅田朋範撮影



稼働から50年が経ち、亀裂がめだつ煙突=2026年3月10日午後3時29分、宮城県塩釜市杉ノ入裏、浅田朋範撮影

市は無策だったわけではない。23年9月に施設建て替えの基本構想をまとめ、同時に計画した埋め立て処分場などの整備費用を含め、計168億円の事業に着手した。

だが、建材費の値上がりや円安の影響で、着手からわずか1年ほどで整備費用は220億円に膨らんだ。国の補助金などを除く市の財政負担は当初の想定から約100億円増える見通しになり、市は25年、計画をやむなく断念した。

次の一手として掲げたのが、ごみ処理の広域化だ。

「広域化以外に選択肢はない」 続く綱渡り

自治体単独で焼却や埋め立て施設を担うのではなく、近隣自治体と共同で施設を運営する。建設費や運営コストを分担でき、職員も減らせるメリットがある。

市の試算では、周辺の1市3町で作る「宮城東部衛生処理組合」に入り、可燃ごみの処理施設を共同で整備した場合、市の負担額は43億～45億円にとどまる。今後、人口減少が進んで税収が細り、ごみ自体も減ることを踏まえれば、市は単独整備より合理性があると見込む。

市環境課の千葉貴幸課長は「広域化以外に、ごみを恒久的に処理する選択肢はない」。25年9月に組合加入を申し入れ、協議を進める。ただ、広域化が実現するとしても、新施設が

家族社会学者・斎藤真緒さん



アエラストイルマガジン
甘さと煙が響く限定原酒
アイラ香るドルチェ新登場酒



Aging Gracefully
ステージ4の肺がんと闘う
T-BOLAN上野博文さん



GLOBE+
結局、馬は特別なのか
たどり着いた一つの「答え」



先生コネクト
先生の課題解決を応援する
授業が変わる 最新情報を配信



朝日新聞Thinkキャンパス
近畿大志願者17万人で首位
大学のいまを、ともに考える。



Reライフ.net
室井滋さん直筆メッセージ
Reライフ文学賞6月から



展覧会・イベント情報
「少女」も あの名品も
いち押しの見どころを紹介



注目情報

MBA、夢じゃない 社会人大学院

最低限知っておきたい「相続のキホン」とは？

PUFFYと高校生、あのダンスでコラボ

東経大・小川学長が語る「実学重視の学び」

すべての人の「学び」を応援！【寺子屋朝日】

CO2削減めざせ 神戸の大学生が未来へ行動

働き方・就活

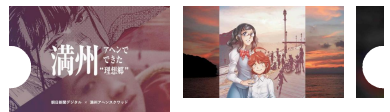
動画ランキング →

動画一覧

1	2	3
1:11 「あれ？歌番組の日付違う」 AIの答えと検察側の「...	0:56 6歳でコンクリート詰めにした玲奈さんなぜ18年...	バスラノから

写真 →

フォトギャラリー



満州アヘンでできた理想郷 カラー化写真

「水俣病」を深く知るために

遠藤デコ

できるまで15年はかかる。徐々に増える維持管理費を投じて老朽施設の延命を図りつつ、突発的な故障と隣り合わせの綱渡りが続く。



宮城県塩釜市環境課の千葉貴幸課長=2026年3月10日午後3時39分、宮城県塩釜市杉ノ入裏、浅田朋範撮影 

人口減少が続いてもごみ処理を持続できるようにするため、国はこうした広域化を「解決策」に挙げてきた。

24年に環境省が出した通知では、都道府県が市町村と連携して広域化の計画づくりを進めるように強調した。

2度頓挫した広域化計画 埼玉県東松山市


だが、市町村の利害が絡む、ごみ処理の広域化は容易ではない。

埼玉県東松山市のごみ焼却施設も、稼働から間もなく50年が経つ。23、24年度は年1億5千万円以上の工事費をかけて、施設を維持してきた。

市は10年以上前から広域化をめざしてきた。15年には、市を含む県中西部の8市町村で組合をつくり、議論を開始。だが、焼却時に出る排熱を利用した施設の運営費をめぐる意見が対立し、妥協点を見いだせないまま、5年後に組合は解散した。

それでも諦めず、参加自治体を変えて、21年から議論を再開したが、今度は、立地をめぐる利害がぶつかった。議論の過程で示された候補地は市から遠い、浸水想定区域内の土地だった。ごみの運搬や土地のかさ上げのための重い財政負担が見込まれ、23年に協議から離脱した。




老朽化した東松山市クリーンセンター=2025年12月18日、埼玉県東松山市神戸、永沼仁撮影 

調整が2度頓挫した間も施設の老朽化は進み、維持費用は膨らんだ。市の担当者は「既存施設の古さからして、これ以上の時間をかけることは現実的に厳しい」。24年には、施設の単独整備の検討を始めたが、物価高騰で財政負担は重くなり、市は3度目の広域化の道を模索することになった。

今は、ごみ処理を民間委託している近隣4町1村に打診し、昨年12月、東松山市内に新たな処理施設を整備し、ごみ処理の広域化を推進する合意にこぎ着けた。ただ、整備や運営費の負担割合や具体的な建設場所で各自治体が一致できるかは今後の交渉次第。調整の難しさを知る担当者は「広域化が最も望ましい形。ただ、時間的な猶予はなく待ったなしの状況だ。丁寧に議論を進めて今度こそ実現したい」と話す。



埼玉県東松山市などの6市町村が、新しいごみ処理施設建設について基本合意を結んだ=2025年12月18日、東松山市、永沼仁撮影 

ごみ処理「住民のくらしに直結するだけに」

広域化の「成功例」と全国から目されるのが、山梨県だ。

1999年に県内を三つのブロックに分けると、将来的に焼却施設を各ブロックで一つに集約する計画を立てた。県内17カ所にあった焼却施設は、2017年度までに8カ所まで集約した。効率化が進み、13～23年度の住民1人当たりのごみ処理費用の増加率は、全国の都道府県で2番目に小さい7%にとどまった。



塩釜市清掃工場のごみの搬入口=2026年3月10日午後3時19分、宮城県塩釜市杉ノ入裏、浅田朋範撮影

集約の過程では、焼却施設の候補地周辺から「農作物への影響や風評被害が起きる」「交通渋滞がひどくなる」などの懸念が寄せられた。自治体の不安に、県は先行事例や解決策を示して首長を説得し、理解を広げていった。

市町村の利害対立で結論が先送りされれば、日を追うごとに人口減少は進み、負担やコストは増していく。

「ごみ処理は住民の暮らしに直結する」と強調する山梨県の担当者は、「市町村間の調整役として、県が積極的に関わり、停滞しがちな議論を前に進めることが、広域化への重要な鍵になる」と語る。

【続きを読む】リサイクル日本一の町で探る解決策、危機を転機に「発想の転換を」 →

地方で広がる賢く縮む、6割近くの知事が必要性認める 朝日新聞調査 →

長期連載「8がけ社会」とは 超人手不足の未来へ解決のヒントを探る →

関連トピック・ジャンル

ジャンル

[社会・調査報道](#) [IT・科学](#)

[環境](#)



連載

8がけ社会

前の記事

集約されるごみ捨て場や回数
「もう成り立たない」未来が促す
変革

2026年5月6日7時01分



次の記事

リサイクル日本一の町で探る解決
策、危機を転機に「発想の転換
を」

2026年5月7日7時00分



[この連載の一覧を見る](#)